

2014(平成26)年3月期 第3四半期決算補足資料

(2013年4月1日～2013年12月31日)

1. 2014.3期 第3四半期実績

(百万円)

	'14.3期3Q 実績	'13.3期3Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	23,122	20,655	+2,467	+11.9%
営業利益	4,975	2,969	+2,006	+67.6%
経常利益	5,723	3,881	+1,841	+47.4%
四半期純利益	4,652	2,965	+1,686	+56.9%
研究開発費	4,561	4,911	-350	-7.1%
研究開発費率	19.7%	23.8%	-4.1pt	-
営業利益率	21.5%	14.4%	+7.1pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	81.90	52.20	+29.70	-
期中平均レート(1US\$/円)	99.39	80.01	-	-

<第3四半期実績と前年同期実績との差異要因>(前年同期比)

売上高: 米国向け単回投与製品ジェル・ワンの数量増や、円安効果により増加。
(+2,467) なお、売上高全体への円安効果は約13億円。

- ・国内アルツは、医療機関納入本数が増加し市場シェアも拡大したが、市場全体は軟調に推移しアルツの伸び率は低減傾向。当社売上は販社在庫調整により微増。
- ・米国向けスパルツは、一部民間保険会社の償還非推奨の影響が一巡し現地販売は微減。当社売上は円安効果により増加。
- ・中国向けアルツは、売上が増加したものの、一部製薬会社の贈収賄問題を受け、伸び率低下。
- ・米国向けジェル・ワンは、現地販売・当社売上が着実に増加したが、販売体制の整備に時間を要しており、伸び率は想定よりも緩やか。

営業利益: 増収に加え、ジェル・ワン訴訟費用や研究開発費を中心に販管費が減少し、増益。
(+2,006) 減価償却方法の変更(定率法→定額法)による利益増加の影響は、約3.6億円。

四半期純利益: 営業外収益にて受取ロイヤリティーが減少したほか、事業効率の向上を目的とした久里浜工場集約等に伴う特別損失を計上。一方で、特別利益で投資有価証券売却益があり、大幅な増益。高萩工場が引き続き優遇税制の対象になっていることも増益要因。

2. 2014.3期 第3四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'14.3期3Q 実績	'13.3期3Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'14.3期予想	'13.3期実績
【医薬品事業】	19,952	17,985	+1,966	+10.9%	26,050	23,125
国内医薬品	14,110	13,850	+259	+1.9%	18,350	17,767
海外医薬品	4,565	3,240	+1,324	+40.9%	6,200	3,940
医薬品原体	1,276	894	+382	+42.7%	1,500	1,417
【LAL事業】	3,169	2,669	+500	+18.7%	4,150	3,513
合計	23,122	20,655	+2,467	+11.9%	30,200	26,639
(海外売上高)	6,839	4,989	+1,850	+37.1%	9,200	6,311

3. 通期業績予想と進捗率 (2013年11月6日に公表しました修正予想に変更ありません)

(百万円)

	'14.3期 予想	'13.3期 実績	前期比		'14.3期3Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	30,200	26,639	+3,560	+13.4%	23,122	76.6%
営業利益	4,800	3,126	+1,673	+53.5%	4,975	103.7%
経常利益	5,500	4,302	+1,197	+27.8%	5,723	104.1%
当期(四半期)純利益	4,450	3,256	+1,193	+36.6%	4,652	104.5%
研究開発費	6,900	6,838	+61	+0.9%	4,561	66.1%
研究開発費率	22.8%	25.7%	-2.9pt	-	19.7%	-
営業利益率	15.9%	11.7%	+4.2pt	-	21.5%	-
1株当たり当期純利益(円)	78.34	57.33	+21.01	-	81.90	-
期中平均レート(1US\$/円)	※ 97.00	83.11	-	-	99.39	-

※第3Q以降前提

以上